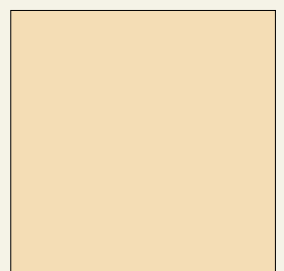
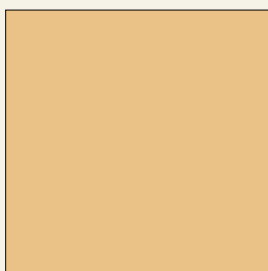
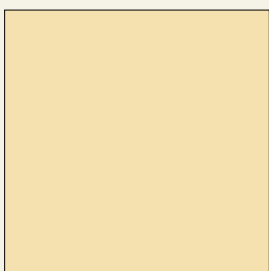
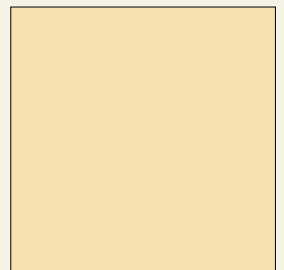
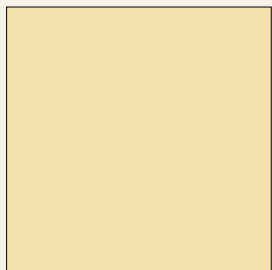
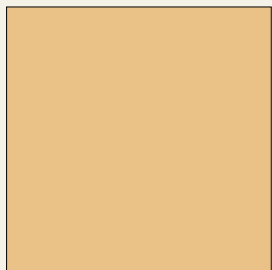
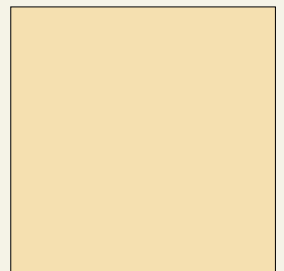
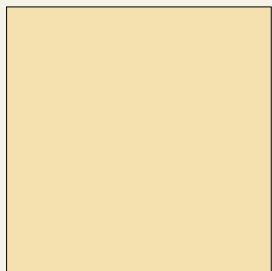
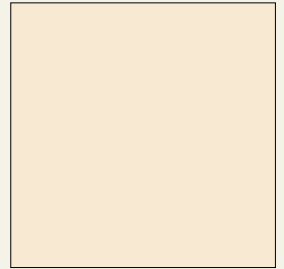
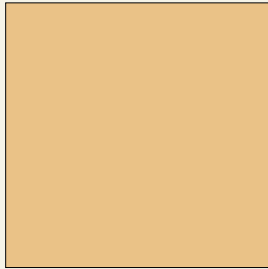
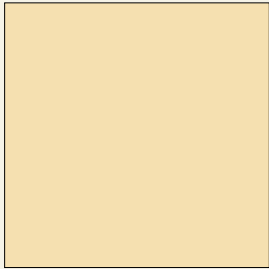
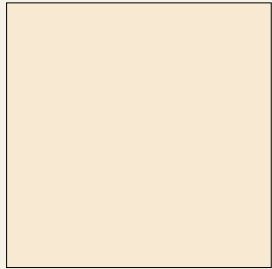




鋼製ダブルウォールえん堤  
**JFEスーパーウォールえん堤**



# JFEスーパーウォールえん堤は、砂防・治山におけるえん堤・擁壁工などにご使用いただけます。

JFEスーパーウォールえん堤は共生機構(株) 殿との技術提携商品です。

JFEスーパーウォールえん堤は、上・下流面に配置した鋼矢板セグメント、エキスパンドパネル、グレーチングパネルの壁面材をタイ材で連結した内部に、現地発生土砂等を中詰めした外部拘束型のえん堤です。中詰め材は、主にせん断強度と単位体積重量等の品質条件を満足することを前提に、現地発生土の使用が可能であり、リサイクルにも貢献する工法です。また、下流側にエキスパンドパネルやグレーチングパネルを用いることによって、環境・景観対策も可能です。

## 特長

- 1

施工性

現地施工は鋼材の簡単な組み立てと中詰め作業で、省力化が可能であり、工期の短縮が図れます。
- 2

経済性

現地発生土を中詰め材として利用するため経済的です。
- 3

景観性

非越流部の緑化が可能で、景観性に優れています。
- 4

適応性

堤体重量が軽くフレキシビリティに富むため、設置地盤への適応性に優れています。
- 5

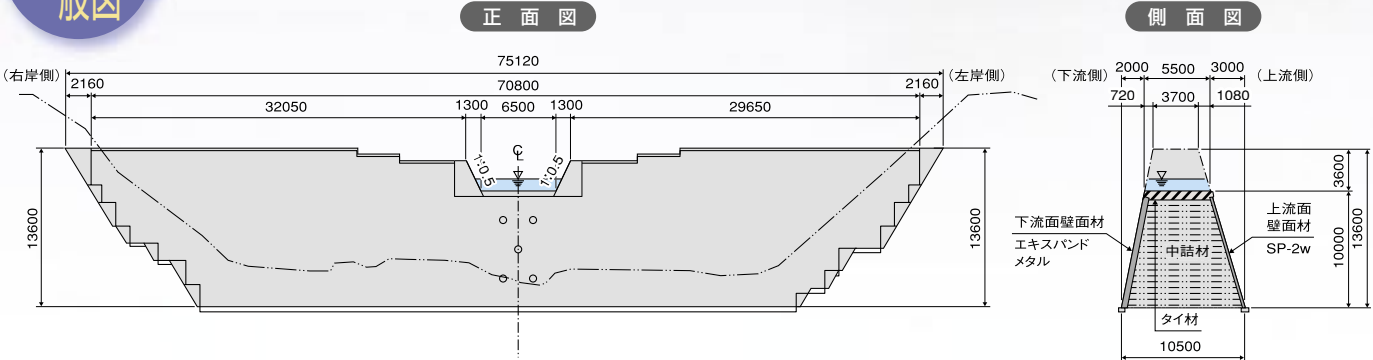
安全性

タイ材で連結した上・下流壁面材と中詰め材との一体性により、優れた堤体の安定性が得られます。

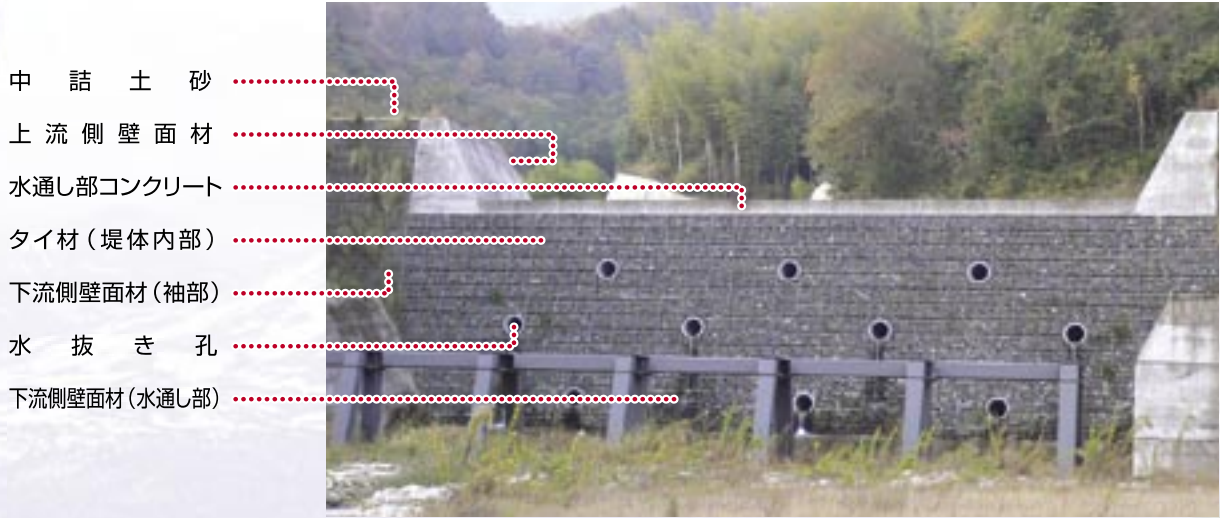
## 適用範囲

えん堤工や擁壁工に適用できます。

## 構造一般図



## 構造図



## 主要部材

壁面材	JIS A 5523または JIS A 5528	鋼矢板セグメント
	JIS G 3101、JIS G 3351	グレーチングパネル、エキスパンドパネル
腹起し材	JIS G 3101	不等辺山形鋼、鋼板
タイ材	JIS G 3112	ネジ節異形棒鋼
底面材、堤冠材	JIS G 3101	鋼板
締結金具	JIS G 3101	自在ジョイント
	JIS G 4051または JIS G 5502	カブラー、ロックナット
	JIS B 1186	高力ボルト
	JIS B 1180、JIS B 1181、JIS B1256	普通ボルト
その他		敷網材(樹脂ネット)、吸出防止材、植生シート他



▲エキスパンドパネル



▲グレーチングパネル



▲鋼矢板セグメント



▲腹起し材



▲タイ材



▲自在ジョイント



# 施工手順

1 堀削・床付け



2 底面通し材の配置



3 下流側壁面材の組立て・配置



4 上流側壁面材の組立て・配置



5 腹起こし材の取付け



植生シートの取付け



10 中詰め材(二層目)以降の巻出し



9 タイ材の取付け



自在ジョイントとタイ材



8 中詰め材(一層目)の巻出し・転圧



7 吸出し防止材の展開・設置



6 樹脂ネットの展開・設置



11 中詰め材(二層目)以降の敷均し・転圧



12 水抜き管の設置



13 堤冠材の取付け



14 完 成





# 施工実施例

## 福岡県

福岡県福岡土木事務所

堤 高：H= 9.00m

堤 長：L= 186.00m

土石流対策工／2004年施工



## 徳島県

徳島県川島土木事務所

堤 高：H= 12.50m

堤 長：L= 76.40m

土石流対策工／2006年施工



## 東京都

東京都三宅支庁

堤 高：H= 14.50m

堤 長：L= 82.20m

土石流対策工／2002年施工



## 栃 木 県

国土交通省 渡良瀬川河川事務所

堤 高：H= 7.00m

堤 長：L= 44.80m

落差工／2002年施工



## 愛 媛 県

愛媛県西条地方建設部

堤 高：H= 11.50m

堤 長：L= 60.60m

土石流対策工／2006年施工



## 秋 田 県

秋田県仙北地域振興局

堤 高：H= 6.00m

堤 長：L= 55.10m

土石流対策工／2003年施工





# 施工実施例

## 広島県

広島県広島地域事務所

堤 高：H= 10.00m

堤 長：L= 76.80m

土石流対策工／2000年施工



## 香川県

香川県長尾土木事務所

堤 高：H= 12.50m

堤 長：L= 66.00m

土石流対策工／2006年施工



## 島根県

島根県大田土木建築事務所

堤 高：H= 3.50m

堤 長：L= 27.70m

貯砂工／1999年施工



## 東京都

東京都三宅支庁

堤 高：H= 8.00m

堤 長：L= 35.67m

貯砂工／2002年施工



## 新潟県

新潟県長岡地域振興局

堤 高：H= 10.50m

堤 長：L= 83.50m

土石流対策工／2006年施工



## 鹿児島県

鹿児島県加治木土木事務所

堤 高：H= 14.00m

堤 長：L= 60.00m

土石流対策工／2001年施工





# 施工実施例

3

## 島根県

島根県浜田土木建築事務所

堤 高：H= 8.00m

堤 長：L= 49.20m

土石流対策工／2003年施工



## 東京都

東京都大島支庁

堤 高：H= 10.00m

堤 長：L= 33.00m

土石流対策工／2002年施工





## ■ えん堤・擁壁工への適用に関する留意点

- ① 中詰め材に用いる土砂は、締固め試験、直接せん断・三軸圧縮等のせん断試験を実施し、品質を確認して下さい。
- ② 中詰め材の締固めに関しては、品質規定方式や工法規定方式により厳密に管理して下さい。
- ③ 中詰め材は一層の仕上り厚が25cmとなるよう転圧し、特に壁面材付近は人力施工とし、タンバにて入念に締固めて下さい。また、中詰め材に礫材が含まれる場合は、礫径が20cm以下となるよう選別してから使用して下さい。
- ④ 土砂による中詰め作業は、降雨時に締固め作業が困難になるため、行わないようにして下さい。また、シート等で覆い、中詰め表面を保護して下さい。
- ⑤ 原則として粘性土は中詰め材に使用できませんが、やむを得ず粘性土を使用する場合は、必ず事前に安定処理工法の方法と品質を確認してから使用して下さい。
- ⑥ 施工中の越流には弱い構造のため、流水処理計画に際しては、安全に下流側に排水するよう格別の注意をはらって下さい。
- ⑦ 下流側壁面を植生する場合は、天候・日照条件を考慮して下さい。
- ⑧ 中詰め材の締固め度は最大乾燥密度に対して85%以上を標準とし、その検査頻度は500m<sup>3</sup>に一回または、中詰め全体で3回の内いずれか多い回数を標準とします。ただし実際の中詰め材の締固め管理値及び検査頻度については、施工管理者の指示に従って行うようにして下さい。



### —より安全な御使用を願って—

本カタログに掲載されている内容は情報提供を目的としたもので、誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますのでご了承下さい。また、掲載される情報・仕様等につきましては予告なしで変更する場合があります。最新情報につきましては、各担当部署にお問合わせ下さい。